

目標達成計画

作成日: 平成 30年 2月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		スタッフは、グループホームの事や認知症の事、身体異常事態の際の対応、掛かりつけ医師と病院等を知ろう。	研修の定期開催と社外講習会への参加	社外講習に参加し、認知症の症状について、再度確かめる必要がある。説明や指導により、確認や実践を行う、確実な対応を自信持って、介護を出来る様になる。	12ヶ月
2		スタッフは、介護制度について知り学ぼう。誤嚥性肺炎や胃ろうについても学ぼう。	スタッフへ資料提供と社内研修の定期開催	介護制度について、誰が負担するのか？入居にはどんな条件があるのか？誤嚥性肺炎の原因は？胃ろうとは？自信持って、説明できるスタッフになろう。	12ヶ月
3		入居者への投薬について詳しく知ろう。	スタッフが、常に投薬の内容と効果を知る	スタッフが入居者の投薬を個別に作成し用意した、薬の説明内容とその効果を確認する。	12ヶ月
4		入居者とスタッフ、健康なのか？チェックをしよう	高血糖値とメタボ防止	入居者の血糖値をチェックする。低血糖と高血糖をホーム内で定期的に測り、結果によっては治療をする。スタッフは体重が増してメタボになっているので、食べ物を減らす。夜間のつまみ食いを止める事とする。体重増加の者へは罰金を取る。	12ヶ月
5		月の訓練として、火災避難訓練はしているが、地震、水害など、自然災害などの避難訓練が出来るのか？火災は消防署隊員が助けに来るが、自然災害は自分たちで、助ける者が居ない事を想定しよう。	どこに避難するのか？の場所の確認と、持ちだし書類、衣服の確認と、準備が出来る様になる。緊急避難への連絡。と、関係者への報告。	災害時の持ちだし品のリストを成しいつでも準備出来る様に、誰もが目に付く場所に掲示する。災害の際に避難場所、誘導方法などを、定期的にスタッフと確認する	12ヶ月

6		出来る事なら、時々は室内から、外に出よう！	入居者には、身体状況に格差があり、室内ばかりでのレクリエーションなどが企画されている。	入居者には認知症であっても、「まだら」の人は日常は、普通健常者の方よりも、はっきりされている。ホームでは病院のクスリもらい、食材の買い出しで、スタッフが外に出る機会がある、その際に同行して気分転換を図る。	12ヶ月
---	--	-----------------------	---	--	------